

建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞

発行人 向江 泰雄

鹿児島市錦江町3番36号

電話 099-227-5100

FAX 099-225-1919

振替口座 02020-5-2558

http://www.kc-news.co.jp

株式会社 ガードシステム鹿児島

本社 鹿児島市新屋敷町26-8(バス通)

電話 099-222-1156

ホームページ http://www.ss-gsk.co.jp

中央町22番街区市街地再開発事業

今月下旬にも本組合立上げ

鹿児島市中央町22番街区市街地再開発準備組合が進めている再開発計画(敷地約1600㎡)は、県が9日に組合設立の認可を出したことから1月下旬(21から25日の間)にも総会を行い、準備組合を解散、本組合を立ち上げ、特定業務代行者の承認を得て施設建築物の実施設計と権利変換計画の作成に入る。建築工事は、10月頃の事業着手を見込んでいる。事業施行期間(予定)は22年1月までで総事業費に11億5860万円を設定、建築工事費には6億4930万円を試算している。

10月頃の工事着手目指す

計画書によると、建物整備費の除却費(3250㎡)に3570万円、規模はS造4階建延べ4584・8㎡。内訳が施設S造4階建延べ3963・7㎡、立体駐車場が574㎡(36台)、駐輪場47・1㎡。支出金明細を見ると、工事費は、建築工事費(4584㎡)に6億4930万円を試算。土地調査設計計画費(1億2800万円)の内訳では、建築設計費4530万円(19・21年度)、権利変換計画作成費1640万円(19・21年度)、その他調査費等で2010万円、地盤調査費340万円などとなっている。20年度からのスケジュールは、既存建物の除却を7月から10月に実施し、建築工事は10月から21年8月の工期で行い、工事完了公告は21年9月、組合解散・清算を21年9月

河川工作物応急対策・牛ノ子地区

事業期間 来年度の新規着手

県始良・伊佐地域振興局農林水産部は、県営農業用河川工作物応急対策(農業用排水施設整備)で、20年度に測量やボーリング調査等を実施し、21・22年度の2カ年で工事を着手する予定。現状を見ると、現在の頭首工(受益面積167ha)は、十曾川(二級河川)の起点付近に位置し、下流は羽月川(二級河川)と合流。築堤後、およそ半世紀が経過し老朽化が

建築確認問題で「相談窓口」新設

国土交通省九州地方整備局は10日、改正建築基準法の施行に伴った建築確認問題に関する建設業者向けの相談窓口を新設した。受け付け時間は、平日午前9時30分から午後5時まで(正午・午後1時は除く)。建設部計画・

県、発注見通し(第4回目)を公表 前年比60%減の368件

県は11日付けで、公共工事発注見通し(第4回目)を公表する。件数は前年比60%(548)減の368件。

問い合わせは、県土木部技術管理課企画指導係(099-2286・3515)まで。

「けんびつ」の「環境」が挙げられる。知事や鹿児島市長らが地球温暖化防止に向けた施策について訓示したことからも明らかだ。今こそ一人ひとりが「できることから始める」時期に来ている▼洪水など地球温暖化に関連する気象災害の数が、過去25年の間に4・6倍に増加し、被災者数も急増しているとの調査結果が報告された。「このまま温暖化が進めば、被害はどんどん大きくなる」と警鐘を鳴らす▼一方、原油価格の高騰が続いている。このようなか、各自動車メーカーは排ガスの出ない電気自動車を来年にも売り出す見通しだ。国も後押しし、一気に普及することも考えられる▼まさに「環境」の政策は、安心安全な社会、持続可能な社会の実現に欠かせない力となるに違いない。温暖化の弊害に対応すべく、社会資本の再整備が重要になってくる。建設業の果たす役割に期待が掛かる。

官公庁ランクアップ

コンピューターにて分析・検討指導致します。

建設業許可・経営・決算変更届・入札参加・社会雇用労災保険・産廃許可・在留手続・外国人雇用管理・会社設立・各種助成金

事務手続代行 致します

行政書士・社会保険労務士

鹿島良事務所

TEL(099)257-7500(代)

FAX(099)257-7503

〒890-0056 鹿児島市下荒田4-14-33 (鹿大水産字部裏)

照國神社大鳥居

大鳥居改修工事

概要

- 鉄筋コンクリート
- 高さ約20m
- 柱間約16m

改修工事は、1929(昭和4年)の設置以来初めてで、昨年10月15日に着工し12月15日に竣工した。設置当時は、鉄筋コンクリート製としては日本一の規模を誇り、空襲で複数の機銃掃射を浴び、戦後弾痕を埋める際、戦争の傷跡を残したいとの思いで、1ヶ所だけは保存していた。しかし、昨年の強度検査で、モルタル塗装の3割以上が浮いていたことが判明し、塗装が落下する危険性があつたため、改修工事に踏み切った。

【施工・監理】

株式会社 島津建設

代表取締役 柳村 宏文

鹿児島市吉野町3095番地236

TEL(099)244-8490(代) FAX(099)244-8493(番)

外壁改修工事が竣工

安全性を確保して外観一新

外壁改修工事

この改修工事では、既存モルタル層の浮きに至る温度変化に伴う伸び縮みを考慮した新しい考えでの外壁モルタル層の剥落防止工法を採用した。

ガードピンの装填

既存塗材

円形サンディング

接着剤

ガードピン

既存モルタル層

既存塗材

コンクリート

ト25mm以上

【剥落防止改修工事施工】

株式会社 南防

代表取締役 原田 毅

鹿児島市紫原4丁目19番10号

TEL(099)252-0432(代) FAX(099)252-0932